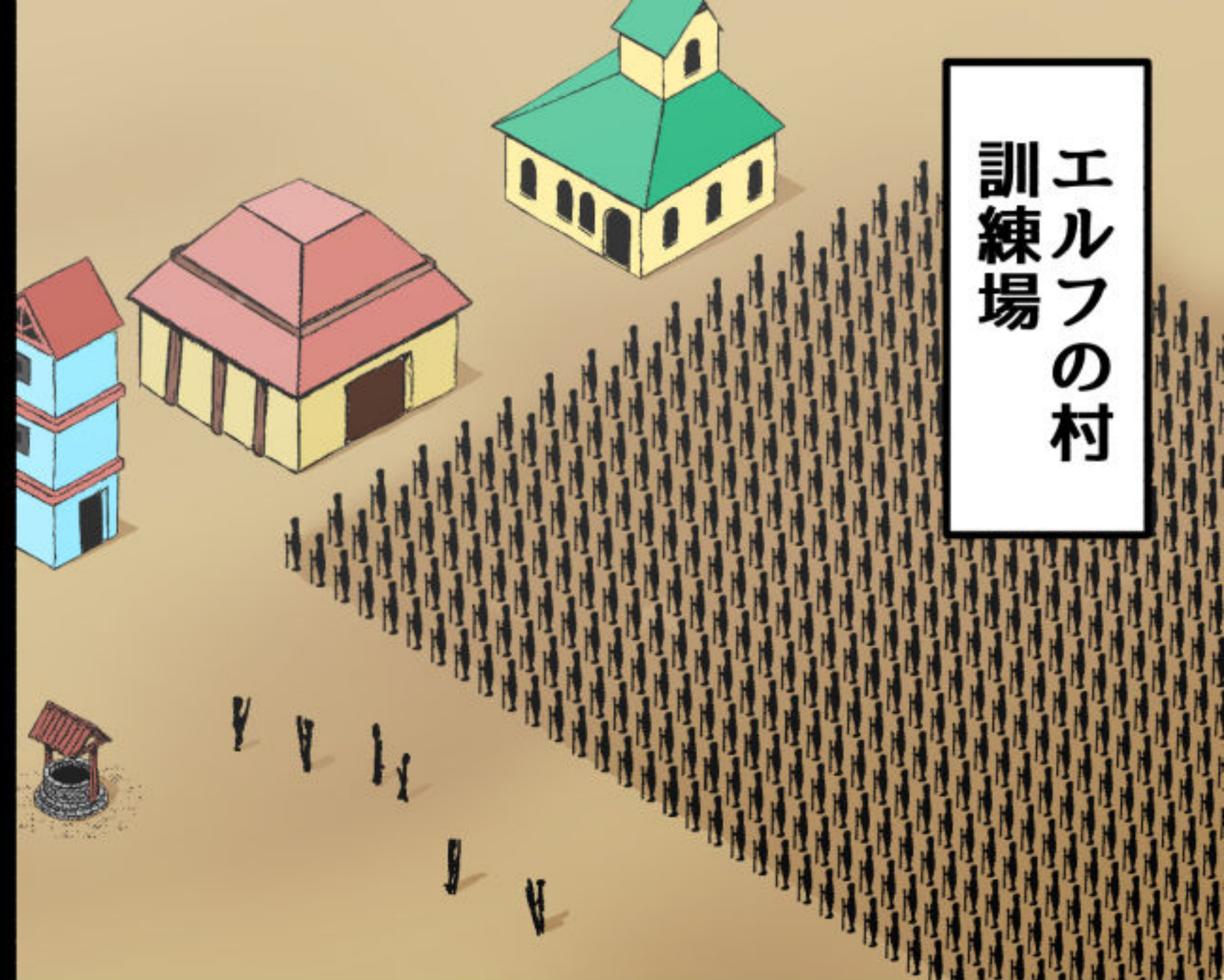


エルフの村  
訓練場



ひるむな!!

ここが戦場なら  
死んでいるぞ!!

それが私と妻の  
最初の出会いだった

エルフの女戦士  
ルシル・フローレン

ひい!

ビュッ





私は帝国出身の  
学者のエルドという  
エルフ族の村に  
異種交流の名目で  
派遣されていた

訓練兵ではなく  
学者だったのか……

すまない……

その後あらためて  
研究棟に詫びにきた  
妻は

?

?

?

研究する私を見て  
好意を持ったらしい

……



妻はエルフ族に数人いる  
精霊の加護を受けた戦士であり  
このエルフの村の戦闘部隊の  
隊長を務めていた



繰り出す光速の剣技で敵を一瞬で  
せん滅してしまうことから  
ついた異名は閃光のルシル

数多くの戦いで  
前衛で敵を屠り  
多くの仲間を救ってきた



：…そんな妻が  
研究棟で私を観察して  
いるうちに  
何故か惹かれてしまっ  
たらしい



ここのところ  
頻繁に来るな…

こちらをにらめつけるような  
表情が正直言う怖かった





詫びにきた後も何かと  
理由をつけて妻は私にと  
会いにくるようになった





そしていつしか私たちは  
想い合うようになっていた

なに？

なぜ最初に  
会ったときに  
私がひるむなと  
言っただかつて？

お前はやはり変な  
ところに注目するのだな





私は気を強くもつて  
一番大事だと思つて  
いるが

どんなに戦闘技術に  
長けていても  
ほんとの戦士は  
戦場の空気に飲まれ  
平静さを失う

恐怖に負け自分を  
見失い本来の力を  
出せなくなるんだ





そうやって  
戦場で命を失う  
仲間を私は  
何人も見てきた

：だから私は  
意思を強く持つよう  
部隊の兵に対して厳しく  
鍛えるようにしている





お前は私が惚れた男だ  
もしどんな苦しい状況に  
立たされた時もある  
諦めたされたで意思を  
強くめなついてほしい

私もそうしているから…  
これだけは  
約束してほしいんだ







なな  
お前  
に  
!?  
か  
だ  
た  
れ  
惚

!?

カアア...







この世界の人々に  
貢献するために  
一心不乱に研究に  
没頭する  
お前が凄いなと思う  
たんだ

私はあまり考えるのが  
苦手だな……

私と立場は違えど  
別々の分野のお前で  
戦って格好良く……





ああ  
もう！

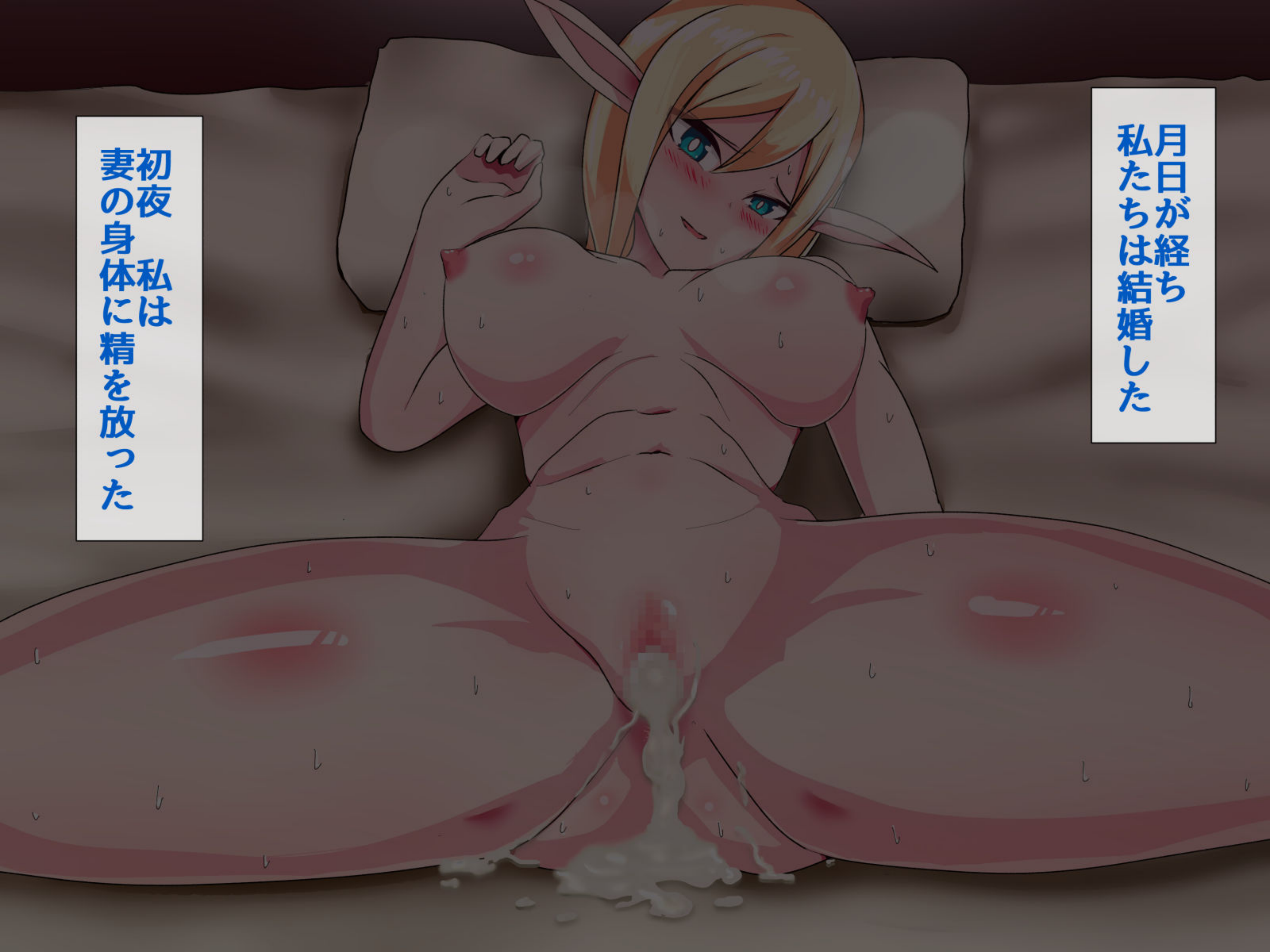
こんな恥ずかしいこと  
二度と言わせるな！





月日が経ち  
私たちは結婚した

初夜私は  
妻の身体に精を放った





フフ：…  
普段弱そうに見えても  
お前もやはり男なのだな…

この毎日鍛えている  
私の身体がこんなにも  
とろかさされるなんて…

やはり私も女なのだな…

ハア

ハア

ビクッ

ビクッ

ドロォ…











これは…

私たちがエルフ族の女は  
男から初めて精を受けると  
下腹部に紋章が  
浮き出るようになってる





エルフ族は  
主従を大事にする

夫婦の関係になれば  
エルフ族の女は男に  
隷属を誓うつまり  
立場は完全に下になる

そしてこの紋章は  
隷属を誓った  
男との愛の証だ





さあ 私は戦士である前に  
お前の女になつた  
しかかも お前の前でしか私は  
女はさらけ出さない

ハア♡

ハア♡

もっと私を  
めちやくちやにしてくれないか？  
情けなく悲鳴を上げることで  
愛するお前を喜ばせたいんだ






それから毎夜  
妻と何度も性交し  
愛をさらに深めていった

妻はその度に  
普段の戦士として似つかない  
艶めかしい高い声を上げた  
私をたのしませた







しかし幸せは  
長くは続かなかった

不可侵の同盟を結んでいた  
私の祖国である帝国が  
突如このエルフの村に  
大軍で侵攻してきたのだ



エルフ族との不可侵の  
同盟を結んでいたはずの  
突然裏切り私の村を襲つた  
帝国が

多勢に無勢  
多くの仲間が死に  
村は壊滅した

私は捕らえられ牢に  
入れられた  
夫とも離れ離れになり  
生死もわかつていない



私は帝国の地下の牢屋に  
入っていた

なぜ殺さないかは  
わかりきっていた  
男は殺されるが女は  
犯すために使われるのだ

慰み者にされるくらいなら  
実力でひねりつぶして  
殺しやる：：！！

コンコンコン  
.....

誰かの足音が聞こえてた



やはり  
なかなかの上玉だな

戦場での面構えが  
なかなか良くてね  
気になったんだ

グイイイ...

さあ たつぷり  
可愛がつてやろう

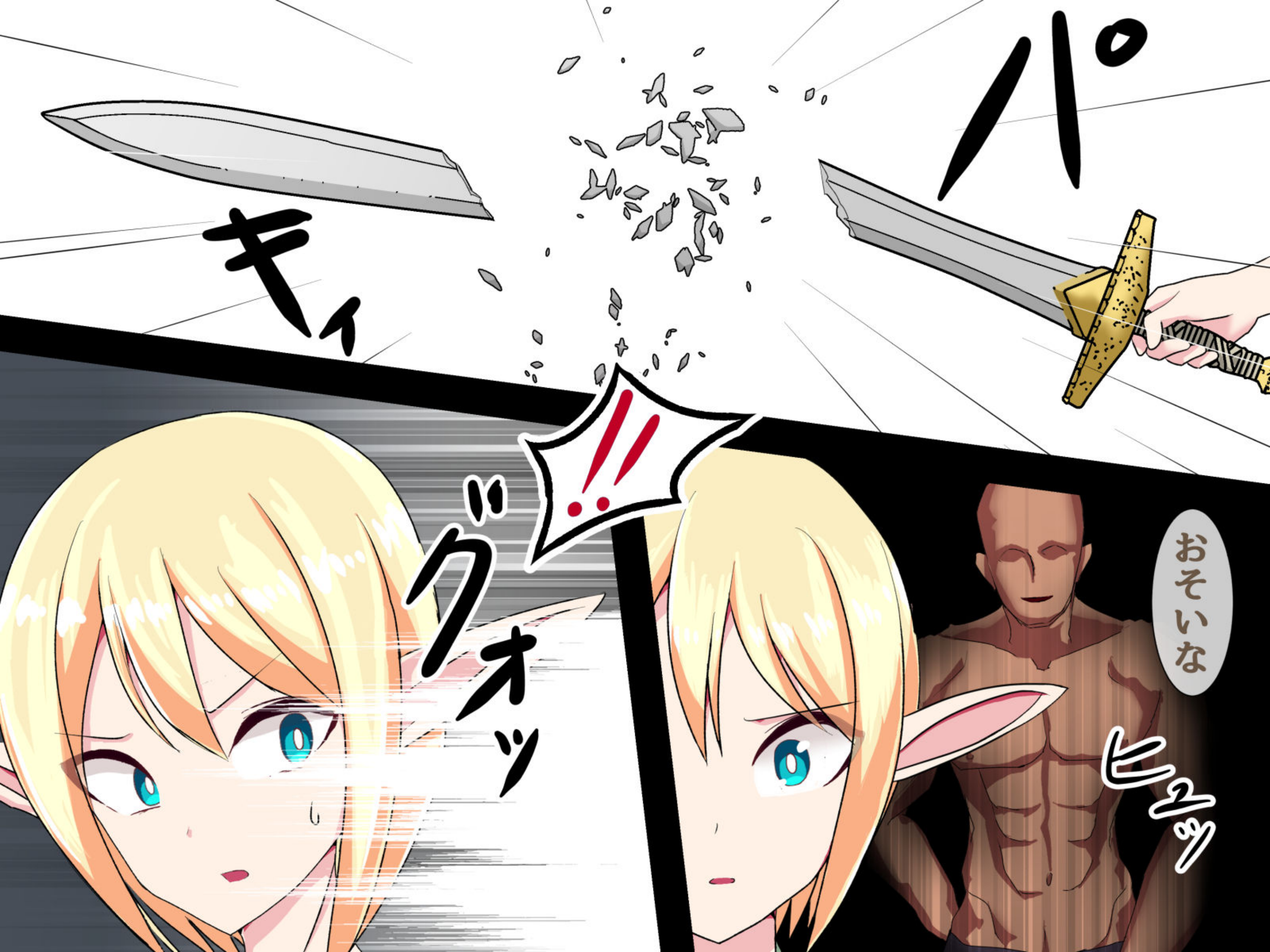


カッ



隠していた剣を手に  
男に切りかかった





ハッ

ハッ

クォッ

おそいな

クワッ



勝負は一瞬だった

剣を折られ  
衣服を引き破かれ  
こちが力で  
ねじ伏せられた





離せ!!  
この...!!

威勢はいいが  
弱い

これがエルフ族の  
誇り高い戦士  
閃光のシルと  
呼ばれる者の  
実力か

グ  
ホ

ミ  
エ  
ホ





ふなかなかの  
具合はいいようだの

この男なんて力だ…!!  
この私がやすく…!!  
なんなんだこの男は…!!?

フッ  
ボッ

ニ  
ツ

貴様あ!!





ん？  
これは隷属の紋章か

たしかエルフ族は  
夫婦になるときに  
男に隷属を  
誓うのだったな

そうだ私には  
添い遂げる夫がいる

貴様のような下賤な  
輩にいくら犯されようと  
この身は汚れることはない

「フッ」  
「ボッ」  
「フッ」  
「フッ」



たん 待てよ  
たしか興味深い文献を  
前に見たな

ふん デタラメだな  
そんなこと  
聞いたことも無い

何度も精を放てば  
この紋章も上書きも  
出来るとか……

ブリ  
ブリ  
ブリ

ブリ  
ブリ  
ブリ





丁度いい  
これから  
試してやろう

黙れ  
私が大人しく  
屈すると思うな

はっ

んっ

フポッ

フッ  
フッ

隙を見て  
お前なんて殺してやる

そうやっていつまで  
強がってられるか  
見ものだな





ほらもつと  
鳴いて私を喜ばせろ

んん

誰が貴様なんかの  
ために!!

ホ  
フ

ブ  
ジュ

くっ





お前の夫と比べて  
気持ちいいか？  
私とのセックスは？

ん、

ん、

こんな暴力的で  
一方的な性交が  
気持ちいいかい  
わけあるかい！！

ハッ  
ホッ

グッ  
グッ





今はそれでいい  
だんだんと  
気持ちよくなるよう  
調教してやろう

絶対に殺す！

貴様なんか  
絶対に殺してやる！

くっ……  
夫のより太くて  
大きく  
奥をついてくる……

7" 7.0 7.7

7!!  
3/2!!





力も何もないがは  
本当に威勢だけは  
いいのだな

はっ

さて  
そろそろ中に出すぞ

くっ

フ  
ポ

フ  
ポ  
ッ

やめろ!!  
それだけは!!

ズ  
ッ







グ

ビュ

♥ル

ル

ル

ル

♥

お  
お



なんて  
無様で下品な顔だ

高潔なエルフの  
血族というの  
もたかが知れるな

これから毎日  
お前を犯してやる  
覚悟しておけ

私……は……  
誇り高きエルフの……

貴様……なんかに  
……屈するか……

ビクッ

ビクッ

フーッ

フーッ

ビクッ

ビチャビチャ

トロ……





人間のエルドとエルフのルシル。  
二人の愛は帝国の裏切りにより  
無惨に引き離された。

そして地下牢に現れた謎の男に  
敗北したルシルは凄惨な凌辱を受ける。

どんな時も諦めないと  
エルドと交わした約束・・・  
彼女は夫を想いながら犯され続ける。

是非、製品版もお楽しみください。